

【 臨床研究に関する情報の公開 】

糖尿病で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	SGLT2阻害薬とGLP-1受容体作動薬の効果の比較
2. 研究の対象者	2014年4月1日から2024年12月31日の間に、当院の糖尿病・内分泌代謝センターにおいて糖尿病の治療を受けられた方
3. 研究期間	令和4年11月11日 ～ 令和6年12月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 研究責任者：糖尿病・内分泌代謝センター 白井 亮太 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	糖尿病治療薬として、SGLT2阻害薬とGLP-1受容体作動薬が承認されています。近年この両者は、血糖改善効果のみならず、体重減量効果、腎臓等の多臓器保護効果が明らかになっていますが、これらの効果を期待する患者さんにおいて、両者のいずれの薬剤を選択するかの明確な指針は存在しません。本解析により、これらの薬剤効果を明らかにし、今後の治療方針決定に役立てるための基礎資料とすることを目的とします。
6. 研究の方法	電子カルテ上で、SGLT2阻害薬ないしはGLP-1受容体作動薬を使用している患者さんにおける、血液検査、体組成、尿検査、画像検査の結果を後ろ向きに統計的データベース解析を行います。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテ上の、年齢、性別、臨床学的指標（身長、体重、血圧、脈拍）、血液検査（血算、HbA1c、AST、ALT、 γ GTP、BUN、Cre、eGFR、T-cho1、LDL-Chol、HDL-cho1、TG）、尿検査（尿定性、尿沈渣、尿ACR）、体組成検査（InBody：体脂肪率、体脂肪量、除脂肪量、筋肉量、SMI）、画像検査（腹部超音波、CT、MRI）、食事記録データベース
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	各種データの抽出は外部と遮断された電子カルテ端末を用います。抽出後のデータは同じく電子カルテ端末上のパスワード管理されたフォルダ内に研究公表後5年間保管し、保管期間を終えるとデータは消去します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 白井 亮太
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 白井 亮太 電話：06-6458-5821（代表）